

## SPR 装置の最先端アプリケーション紹介

科学分析支援センター 畠山 晋

開催日:平成 22 年 5 月 28 日(金)

ご協力:ニッポンテクノクラスタ株式会社, Reichert 社

出席: 10 名

内容:米国 Reichart 社製分子間相互作用検出装置「SR7000DC」は、世界で初めて表面プラズモン共鳴(Surface Plasmo Resonance : SPR)の原理を応用した Live cell とタンパク質間相互作用の検出装置である。一般的な SPR 装置では流路の詰りや耐久性の問題で物理的に検出不可能であった、生細胞やバクテリア、血清を流してその結合性を検討することも可能となっている。さらに本装置検出部分のチューブ配管を別の LC 装置の吸光度検出器などに直結し LC フラクシオンの結合性の検討や、特殊なセンサーライドを用いて MALDI のターゲットとして使用する事も可能であり、非常にユニークな拡張性を併せ持っていると言える。米国より講師として PHILLIP PAGE 氏を招き, SPR の原理をはじめ, アプリケーションの解説, さらに実機を使って操作方法の説明やデモンストレーションを行なっていただいた。



科学分析支援センター セミナー



### SPR 装置の最先端アプリケーション紹介

- 日 時 : 2010 年 5 月 28 日 (金) 13:00 ~ 14:30
- 場 所 : 科学分析支援センター 3F 会議室
- 講 師 : Reichert 社

PHILLIP PAGE 氏 (Technical Sales)

※ セミナー資料の準備の都合上、事前の参加申し込みをお願いします

#### ● 概要

米国 Reichart 社製分子間相互作用検出装置「SR7000DC」は、世界で初めて表面プラズモン共鳴 (Surface Plasmo Resonance : SPR) の原理を応用した、Live cell とタンパク質間相互作用の検出装置です。一般的な SPR 装置では流路の詰りや耐久性の問題で物理的に検出不可能であった、生細胞やバクテリア、血清を流してその結合性を検討することも可能です。

さらに本装置検出部分のチューブ配管を別の LC 装置の吸光度検出器などに直結し LC フラクシオンの結合性の検討や、特殊なセンサーライドを用いて MALDI のターゲットとして使用する事も可能になります。



#### ● 内容

- ◆ SPR の原理
- ◆ ユニークな先端アプリケーション
- ◆ LC/MS システムとのカップリング
- ◆ 実機による操作方法説明、デモンストレーション
- ◆ 質疑応答



セミナーお申し込み:  
科学分析支援センター 内 5102

お問い合わせ先:  
科学分析支援センター 畠山 晋 内 4346